



第13期サポートの会 活動総括

代表 奥村良雄

第13期サポートの会の活動方針

1. 三役部会長会議から役員会に名称を変更

※学科代表が新たに参加

2. 在学生にとりサポートの会が身近な存在となる活動を継続

※校外学習サポーターはビブス着用

3. 横断的取り組み: サポートの会三役・部会長・学科代表間の

意思疎通、及び各部会間・学科間の協力

4. 縦断的取り組み: 学科毎の直近OBと在学生との親睦

三役・部会長・学科代表全員で情報共有

1. 三役部会長会議から役員会に名称を変更

- ・役員会へ新たに学科代表が加わったことにより、三役と部会長、及び学科代表がリアルタイムで情報を共有することができた。



- ・第42期学科代表と第43期学科副代表の接点がほとんどなかったことにより、第43期学科副代表との情報共有が調整会議のみとなった。



2. 在学生にとりサポートの会が 身近な存在となる活動を継続

➡ 校外学習サポーターは新たに
ビブスを着用した。



第12期までは校外学習サポーター
の影が薄く、どこの誰が来ているの
かが在学生には不明だった。

3. 横断的取り組み

- ➡ サポートの会三役・部会長・学科代表間の意思疎通、及び各部会間・学科間の協力を図った。



役員会に学科代表が入ったことにより、適切な意見や提言が得られた。

- ◎新たに導入したスケジュール表から、サポートの会の年間活動の全体像を互いに理解することができ、会員が予め道筋を頭に描いてサポートの会の活動に参加していたように思う。

4. 縦断的取り組み

学科毎の直近OBと在学生との親睦

三役・部会長・学科代表全員で情報共有



三役・部会長・学科代表全員での情報共有は
役員会で実現することができた。

しかし、学科毎の直近OBと在学生との親睦
は道半ばとなった。

第14期サポートの会への継続案件

- ◆ レイカディア大学の魅力を深め、価値を高める活動を実践する
- ◆ 地域活性化の担い手として、元気なシニアをレイカディア大学から輩出し続ける
- ◆ 在学生在が楽しく有意義に学生生活を送れる環境を整え、必要な提言も積極的に行う

第13期サポートの会の総括

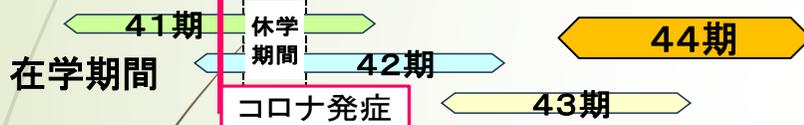
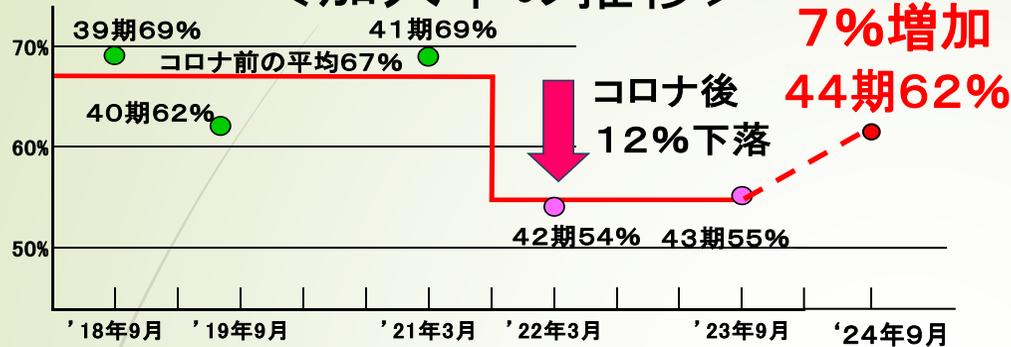
- ★明るく、楽しく、元気よく、そしてリラックスを心掛けて活動してきた。
- ★役員会が議論の場として機能し、課題を見つけて解決する方向付けができた。
- ★スケジュール表の完成により、体系的にサポートの会が1年間に行うべき諸活動を把握することができた。

14期新会員募集活動と 学科部会新設準備活動の総括

活動内容と実績	機関確認	3/6 4/10 8/27 9/11	第14期新規会員募集活動計画を提議 第14期新規会員募集活動計画を提議 学科部会新設準備計画を提議・承認 新会員 部会配属員数調整会議 第12回役員会議で活動の総括報告
	PR活動	3/8 4/19 5/31 6/14	44期生へのサポートの会説明会 45期生へのサポートの会説明会 寄付講座 卒業後の活動に向けて
	入会促進	7/27 8/7 9/4 9/10 9/11 9/16	健康づくり学科 … 懇談、質問への回答 陶芸学科 … 学科長他との懇談 園芸A・B … 園芸クラブからの入会PR 全学科対象 … 入会随時募集中のPR 地域文化学科 … 学科部会の説明会 入会のお礼と所属部会通知を新会員全員へ発信
	部会見学会 と仮入部	6/3～ 7/18	部会見学会（全部会で全8回予定） 合わせて、仮入部制度を実施 … 希望者なし ※参加者があったのは6/13の自主講座部会のみ
	学科部会関連	6/5 6/24 7/31 8/29 9/19	全会員へ学科部会新設の紹介文を配布 第1回学科部会設立準備会 第2回学科部会設立準備会 第3回学科部会設立準備会 第4回学科部会設立準備会

14期新規入会者の結果

<加入率の推移>



入会申込者数 …… 74人
(前年比 +8人、112%)

入会率 …… 62%
(前年比 +7%)

男性加入率

前年63%⇒本年63%(±0%)

女性加入率

前年45%⇒本年61%(+16%)

- ・新会員の入会率減少に歯止めが掛かり、上昇に転じた
- ・PR活動が功を奏し、学科部会の理解が広がり、評価を得たと判断

3年後の人員構成をシミュレーション

実績	41期	42期	43期	合計
男	52	39	48	139
女	23	19	18	60
合計	75	58	66	199

3年後



推計	44期	45期	46期	合計
男	49	44	42	135
女	25	34	42	101
合計	74	78	84	236

人員合計は19%増加し、女性比率は30%⇒43%へ増加